

シ ロ ハ ラ

Turdus pallidus



分類	スズメ目ヒタキ科ツグミ亜科												
特徴	冬の林の地面からキョキョと鳴いて飛びたつ、尾の先に白斑のある鳥。ウスリー地方で繁殖し、日本には冬鳥として渡来して積雪の少ない地方で越冬する。対馬でも繁殖期にさえずりが聞かれた例があり、繁殖の可能性もあるが未確認である。												
生活	越冬期には低山や丘陵の下生えのある、よく茂った林に棲息する。地上で採餌し、落ち葉をはねのけてミズや昆虫などを探す。木の実を食べることもある。他のツグミ属の越冬場所と比較すると、もっとも開けた環境に棲むのはツグミで、畑や川原にも多い。アカハラは林のヘリや木のまばらに生えた所を好み、葉を落とした枝にも出てきて木の実をついばんだりする。												
声	春期の渡去時に短くさえずることがあるが、対馬の御岳では6月に本格的なさえずりを聞いた。木の枝先にとまって「キィチョロリーキィチョロリー」と聞かれるクロツグミに似た明るい声や少し濁った「ジィチョロリー」と聞かれる声で盛んにさえずっていた。地鳴きは「クワッ」とか「キョッキョッキョ」という声で冬期にもよく聞かれる。												
見分け方	アカハラとは、脇腹が赤くないこと、尾の先に白斑が出ることに注意して見分ける。												
時期	(月)	1	2	3	4	-	-	-	-	-	10	11	12
その他	全長(L)25cm 翼開長(W)39cm												
参考文献：山溪カラー名鑑 日本の野鳥													